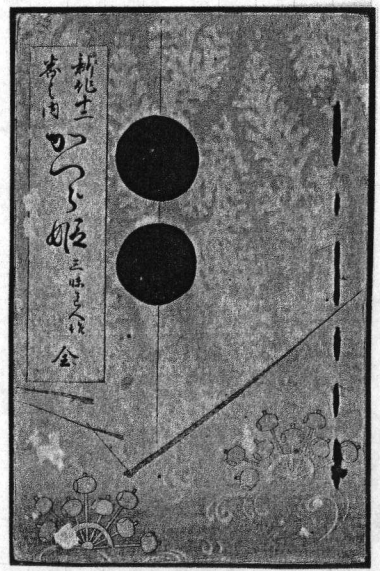


宮崎(三昧) 三昧 山説家。安政六年八月一日江戸生れ、大正八年二月二十一日歿(八五―一九)。本名璋藏。別號三味道人、文字三昧樓主人、遊戯道士、警憲大將、驪山房等。明治十一年東京師範學校卒。新聞記者の傍ら歴史小説を發表。後年は江戸文藝の校訂、鐫刻に専心。作家宮崎一雨の父。

著書『日本華文』(明治二十二年四月十一日大阪・梅原書房)、『松花録』(三味道人名、明治二十一年十一月、二十九日吉岡書齋店「新著百種」)、『おのら姫』(同、明治二十二年十一月十四日春陽堂「新作」一番)、『戀の重荷七變化』(同、蝸牛露伴子合著、明治二十四年十月、二十九日春陽堂「聚芳十種」)、『第二國民小説』(合著、明治二十八年六月一日民友社)、『塙團右衛門(附鐵牛遺事)』(三味道人名、明治二十八年七月、二十日春陽堂)、『幼年志編』(合著・坂下龜太郎編、明治二十七年二月十七日博文館)、『珍書百種・第壹卷(註)』(子道の記・句・兄・弟)、『(三味道人名、編、明治二十七年八月二十日春陽堂)、』、『自黒物語』(自黒跡追物語)、『(明治二十八年九月一日春陽堂)、』、『鬼一口』(三味道人名、明治二十八年九月十日春陽堂)、、『鴉の浮葉』(同、明治二十九年二月二十日春陽堂)、、『花寄團五』(同、明治三十年十月二十三日春陽堂「春陽文庫」)、、『青才丸』(合著、明治三十四年一月二十九日春陽堂)、並木五瓶作『春花五大力』(校訂、明治二十七年九月十五日富山房「名著文庫」)、北條團水作『日本新永代藏』(同、



明治二十六年十一月十一日富山房「名著文庫」

唐文橋樹  
朱樂音江編  
四方赤良「狂萬  
歌」

載集才藏集選』(同、明治二十七年一月)富山房「名著文庫」

「小鳥と金魚」(安藤紫陽共著、明治二十七年七月十七日東京華房)

「日本豪傑譚・第二編」紀文大盡  
烟將軍・附録千人切(斬)』(明治四十一年

七月十日春陽堂)、上田秋成著「ソウゾらふみ」(内題「藤蓑册子」)校

訂、明治四十一年四月八日吉丸書房「奇籍大觀」)、浮世會著「上

宿無論語經曲餘師』(内題「論語經曲餘師」附大學中庸)同、明治四

十一年七月十五日吉丸書房)、片島深淵子編「赤城表伝傳」(同、

明治四十一年十月九日吉丸書房「奇籍大觀」)、「落葉選」(選、

明治四十一年五月十五日富山房「名著文庫」)、近松半二(他)著「大

正記忠臣講釋』(校訂、明治四十四年二月)千八百富山房「名著文

庫」)、「趣味  
研究大江戸」(合著、江戸研究會編、大正二年十月)千四

百大屋書房)、珍書會版「賞奇樓叢書」(本名、校訂、小田垣蓮月  
高島式部著

「蓮月式部」)女知歌集』大正二年十一月十八日刊、狂舟  
谷我著「文選臥座」

同白刊、石川雅望著「しみのすみか物語・上」四年二月六日刊、西鶴

著「新小夜嵐・上下」校註・六年二月一日刊)等。